

公共事業再評価調査

整理番号 H20 - 6

担当部課名	県土整備部 道路課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 6 5 1
		E - MAIL	doro @pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 (10 年)	再評価後 (年)	その他 ()
---------	-----	---------------	------------	---------

1 事業概要

事業種別	道路事業	事業主体	県 市町村 その他 ()																																																
事業名	緊急道路建設整備事業	地区名等	東北横浜線 室の久保 市町村名 六ヶ所村																																																
事業方法	国庫補助 県単独 財源・負担区分	国 55 % 県 45 % 市町村 %	その他 %																																																
採択年度	平成 11 年度 (用地着手 平成 13 年度 / 工事着手 平成 18 年度)																																																		
終了予定年度	平成 25 年度 (平成 年 月 工期変更 当初計画時 平成 年度)																																																		
事業目的	<p>・主要地方道東北横浜線は、上北郡東北町(旧上北町)水喰地内を起点とし、原子燃料サイクル施設西側を經由し、横浜町二又地内で主要地方道横浜六ヶ所線に至る地域の生活道路であるとともに、三沢空港や県南地域から石油備蓄基地や原子燃料サイクル施設へのアクセス機能を有する道路である。当該区間は、急勾配(Imax=11%)、急カーブ(Rmin=15m)で道路線形が悪いことから交通の隘路となっており、特に冬期間、大型車は登坂に苦慮している。このため、安全で円滑な交通の確保を目的として、3種4級、設計速度40km/hの規格でバイパス事業を実施している。</p>																																																		
主な内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>当初計画時</th> <th>再評価時</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画延長</td> <td>1,700 m</td> <td>1,700 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>計画幅員</td> <td>5.5(7.0) m</td> <td>5.5(7.0) m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>改良工</td> <td>1,700 m</td> <td>1,700 m</td> <td>0 m</td> </tr> <tr> <td>舗装工</td> <td>12,190 m</td> <td>12,190 m</td> <td>0 m</td> </tr> </tbody> </table> <p>・事業計画については、当初計画時と比較して変更はない。</p>			区 分	当初計画時	再評価時	増 減	計画延長	1,700 m	1,700 m	0 m	計画幅員	5.5(7.0) m	5.5(7.0) m	0 m	改良工	1,700 m	1,700 m	0 m	舗装工	12,190 m	12,190 m	0 m																												
区 分	当初計画時	再評価時	増 減																																																
計画延長	1,700 m	1,700 m	0 m																																																
計画幅員	5.5(7.0) m	5.5(7.0) m	0 m																																																
改良工	1,700 m	1,700 m	0 m																																																
舗装工	12,190 m	12,190 m	0 m																																																
事業費	<p>当初計画時総事業費 <u>850</u> 百万円 (単位：百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>~ 17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度</th> <th>20年度</th> <th>小 計</th> <th>21年度~</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計 画</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>567</td> <td>283</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>()</td> <td>(75)</td> <td>(37)</td> <td>(112)</td> </tr> <tr> <td>年 月変更</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実 績</td> <td>147</td> <td>36</td> <td>7</td> <td>100</td> <td>290</td> <td>560</td> <td>850</td> </tr> <tr> <td>(うち用地費)</td> <td>(99)</td> <td>(8)</td> <td>(0)</td> <td>(5)</td> <td>(112)</td> <td>(0)</td> <td>(112)</td> </tr> </tbody> </table>				~ 17年度	18年度	19年度	20年度	小 計	21年度~	合 計	計 画					567	283	850	(うち用地費)	()	()	()	()	(75)	(37)	(112)	年 月変更								実 績	147	36	7	100	290	560	850	(うち用地費)	(99)	(8)	(0)	(5)	(112)	(0)	(112)
	~ 17年度	18年度	19年度	20年度	小 計	21年度~	合 計																																												
計 画					567	283	850																																												
(うち用地費)	()	()	()	()	(75)	(37)	(112)																																												
年 月変更																																																			
実 績	147	36	7	100	290	560	850																																												
(うち用地費)	(99)	(8)	(0)	(5)	(112)	(0)	(112)																																												

2 評価指標及び項目別評価

(1) 事業の進捗状況

(A) ・ B ・ C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			34.1 % [/]	51.2 % [/]
			(100 %) [/]	(150 %) [/]
	主要工種	改良工 (541百万円)	18.7 %	28.0 %
毎割合 (事業費)	舗装工 (120百万円)	0 %	0 %	
	(百万円)	%	%	
説 明	<p>・平成 20 年度には用地取得は完了する見込みである。 ・今年度からは補助事業へシフトしており、今後は効率的に整備を進めることができる。</p>			
問題点・解決見込み	<p>・事業を進めるに当たっての阻害要因が無く、順調に事業の推進を図ることが出来る。</p>			
事業効果発現状況	<p>(部分供用なし)</p>			

(2) 社会経済情勢の変化

(A) ・ B ・ C

社会的評価	全国・本県における評価	<p>【全国の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成15年10月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」では、道路整備事業について、透明性の高い、効果的かつ効率的な道路整備を推進し、社会・経済の活性化と暮らしの豊かさの向上を図ることとしている。 	<p>【県内の評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通機関が未整備である本県にとって、自動車を主とする交通に頼らざるを得ない状況であるが、県内の道路は未整備区間が多く、さらに豪雪地帯であるため、冬季の安全確保や社会基盤整備としての道路整備に対する要望は多い。 	
	当地区における評価	平成9年度、平成10年度に六ヶ所村議会議長から、道路利用者の安全確保のため早期完成の要望が出されている。		
必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該路線は県管理道路であるため、青森県が事業主体となって行う必要がある。 ・当該区間は、急勾配、急カーブとなっており、特に冬期間は大型車輛が登れなくなることから、安全で円滑な交通の確保を図るため、当該工区の早期整備が必要である。 		(a) . b	
適時性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該工区周辺には、石油備蓄基地や原子力サイクル施設を配しており、三沢空港や県南地域を連絡するアクセス道路として早期に整備する必要がある。 		(a) . b	
地元の推進体制等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度には用地取得は完了する見込みであり、事業に対する理解が得られ当該工区の早期完成が望まれている。 ・六ヶ所村から早期完成を要望されている。 		(a) . b	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> ・道路線形の改善により車輛交通の円滑化と沿道環境の改善がなされる。 ・冬期間の安全通行が図られる。 			

(3) 費用対効果分析の要因変化

A ・ (B) ・ C

区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	- 百万円	774 百万円	- 百万円
	(2)維持修繕費	- 百万円	158 百万円	- 百万円
	(3)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(4)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(5)	- 百万円	百万円	- 百万円
	総費用	- 百万円	932 百万円	- 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	- 百万円	491 百万円	- 百万円
	(2)走行費用減少便益	- 百万円	-43 百万円	- 百万円
	(3)交通事故減少便益	- 百万円	-7 百万円	- 百万円
	(4)	- 百万円	百万円	- 百万円
	(5)	- 百万円	百万円	- 百万円
	総便益	- 百万円	441 百万円	- 百万円
	B / C		0.47	
費用対効果分析 (B / C)	<p>【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針(平成16年2月 国土交通省) ・費用便益分析マニュアル(平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局) <p>【縦断線形の改善を目的に計画したため、現道延長1.3kmに対し計画延長1.7kmと0.3km延びたことにより、整備前と整備後の便益費用に大きな差が生じなかったことによる】</p>			a (b)
計画時との比較	<p>【計画時との比較における要因変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業採択時が県単独事業のため、当初計画時に費用対効果分析は行っていない。 			a . b

(4) コスト縮減・代替案の検討状況

(A)・B・C

コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路盤材・舗装合材に再生材を使用し、経費の縮減を図ることとしている。 ・排水施設等の小規模構造物については極力、工場製品を使用し、工期の短縮及び経費の縮減を図っている。 	(a)・b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該区間については、縦断線形を改善することが目的であることから、道路規格を満たす最短距離で経済的な実施中のバイパス案が最適である。 	(a)・b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点

(A)・B・C

住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・六ヶ所村議会議長より、当該地区の早期完成の要望が出されている。 	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路線形が悪く急勾配となっており、交通の隘路となっていることから、安全で円滑な交通の確保を図るため、早期のバイパス整備を求めている。 	(a)・b												
環境影響への配慮	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)区分</p> <table border="0"> <tr> <td>農林地等の緑地や植生の改変</td> <td>地形や地盤の改変</td> <td>水系や水辺の変更</td> </tr> <tr> <td>海域環境の変更</td> <td>敷地整備段階での重機の使用</td> <td>土砂等の搬出・搬入</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理等</td> <td>道路(車歩道)、雨水排水路の設置</td> <td>基礎や地下建造物の建設</td> </tr> <tr> <td>低層建築物の建設</td> <td>高架構造物の建設</td> <td>海底・海中建造物の設置や建設</td> </tr> </table> <p>(3)対応内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・切土または盛土により植生等を改変する場合は、張芝等により緑化を行い代替措置を講じている。 ・沢部や尾根部を分断しないよう配慮している。 ・低騒音・低振動仕様の重機を使用している。 ・産業廃棄物は再資源化施設へ搬入し、リサイクルに努めている。 ・地下埋設物の調査を実施し、ライフラインの破損等防止に配慮している。 		農林地等の緑地や植生の改変	地形や地盤の改変	水系や水辺の変更	海域環境の変更	敷地整備段階での重機の使用	土砂等の搬出・搬入	廃棄物処理等	道路(車歩道)、雨水排水路の設置	基礎や地下建造物の建設	低層建築物の建設	高架構造物の建設	海底・海中建造物の設置や建設	(a)・b
農林地等の緑地や植生の改変	地形や地盤の改変	水系や水辺の変更													
海域環境の変更	敷地整備段階での重機の使用	土砂等の搬出・搬入													
廃棄物処理等	道路(車歩道)、雨水排水路の設置	基礎や地下建造物の建設													
低層建築物の建設	高架構造物の建設	海底・海中建造物の設置や建設													
地域の立地特性	<ul style="list-style-type: none"> ・当該地域は、特別豪雪地帯、積雪寒冷特別地域、半島振興地域に指定されている。 ・当該地域には、石油備蓄基地や原子力サイクル施設が隣接している。 														

3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	<ul style="list-style-type: none"> ・費用対効果分析の項目が「B」評価であるものの、三沢空港や県南地域から石油備蓄基地や原子燃料サイクル施設へのアクセス機能を有するなど、本路線の持つ重要性や地域特性等を総合的に評価すると着実に事業を推進し早期に事業効果発現を図る必要がある。したがって、対応方針を「継続」とした。 			
備考				

4 公共事業再評価審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見				
評価理由				